

株主の皆様へ

第71期第2四半期のご報告

2019年4月1日から2019年9月30日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 フジックス
証券コード：3600

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第71期第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方で、米中の貿易摩擦や中国経済の減速、日韓関係の悪化など日本経済に大きな影響を及ぼすアジア地域における国際情勢はますます不透明感が増しております。

これを受けて国内消費は、家電製品を始め、高額商品には消費税率改定前の駆け込み需要が見られましたが、当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や、手芸関連業界におきましては、総じて慎重な購買行動や節約志向が続き、服飾材料である縫い糸の受注は低調に推移しました。

当社グループでは今春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇しましたが、受注の低調やアジアセグメントにおける為替換算レート変動の影響もあって、第2四半期連結累計期間の売上高は3,160百万円(前年同期比0.9%減)とほぼ前年同期並みにとどまりました。

一方、利益面につきましては、売上高の回復は遅れているものの、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少などにより、営業利益は71百万円(前年同期は12百万円の損失)、経常利益は109百万円(前年同期比408.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円(前年同期は197百万円の損失)となりました。

なお、前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、旧本社の建て替えの意思決定に伴う減損損失および事業所改築関連費用等を含め、合わせて186百万円の特別損失を計上したことが主な要因となっております。

株主の皆様におかれましては一層のご支援をお願いいたします。

2019年12月

代表取締役社長 藤井 一郎

セグメント別の概況

日本

当四半期の国内消費は、引き続きまだら模様で、家電製品を始め、高額商品には消費税率改定前の駆け込み需要が見られ、衣料品におきましても高額商品の一部には同様の需要が見られましたが、アパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、全体としてはむしろ慎重な購買行動や節約志向が強まる傾向にあり、服飾材料である縫い糸の受注は低調に推移しました。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間には、当社は2019年4月から9月まで、国内子会社は2019年2月から7月までの業績が連結されているため、2か月のずれがあることや、それぞれの事業分野や販売地域も異なるため、状況は各社ごとに相違が見られるものの、当社におきましては今春実施した販売価格改正に伴う駆け込み需要の反動も予想以上に長引いて、販売数量の回復が遅れております。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,524百万円(前年同期比1.7%増)にとどまりました。

また利益面は、販売価格改正による利益率の改善が見られるものの、当社における販売数量の減少や製造コストの上昇傾向など、売上総利益の増加を阻害する要因もあり、セグメント利益は8百万円(前年同期は73百万円の損失)となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、2019年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間におけるアジア地域での縫製につきましては、日本国内の衣料品消費の低調に伴い、日本向け衣料品の生産は全体としては慎重で抑制傾向が続いたため、当セグメントの主力である日本向け衣料品用の縫い糸の受注は伸び悩みました。特に中国におきましては、米国との貿易摩擦や国内経済の減速により、縫製業の事業環境は厳しさが増しつつあります。

このような中、中国子会社におきましても、日本同様、様々なコストアップを吸収するために販売価格の改正を実施いたしましたが、販売競争が一段と激化する中、受注量は低調に推移しました。これらの状況に加えて、為替換算レート変動の影響も加わって、当セグメントの売上高は635百万円(前年同期比10.0%減)にとどまりました。

一方、利益面におきましては、販売数量の減少に伴う減益要因も見られましたが、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少効果等により、セグメント利益は64百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

Topics

第56回 FISMA TOKYO 出展

9月18日～19日、東京ビッグサイトで開催された日本最大級のファッション産業機器の展示会「56th FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展)」に出展しました。

当社ブースでは導電糸「スマートX」、再生ペットボトル原料を使用したミシン糸「リペットスパン」や、生分解性合繊ミシン糸「バイオスパン」等を展示し、来場者からは「スマートX」を使ったLEDの点灯実演などに、高い関心が寄せられました。

昨今の環境問題への関心の高まりから、ファッション業界においてもリサイクルや生分解素材が注目を集めており、この展示会への出展で新たな販路拡大へのPRとなりました。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	7,350	7,296	△ 54
固定資産	3,767	3,669	△ 97
有形固定資産	2,375	2,313	△ 62
無形固定資産	248	225	△ 22
投資その他の資産	1,143	1,130	△ 12
資産合計	11,118	10,966	△ 152
負債の部			
流動負債	894	863	△ 30
固定負債	851	836	△ 15
負債合計	1,746	1,700	△ 45
純資産の部			
株主資本	8,212	8,186	△ 25
その他の包括利益累計額	457	384	△ 73
非支配株主持分	702	694	△ 7
純資産合計	9,372	9,265	△ 106
負債・純資産合計	11,118	10,966	△ 152

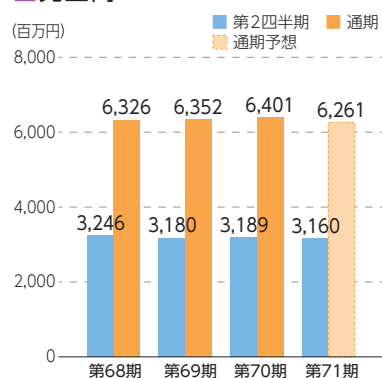
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

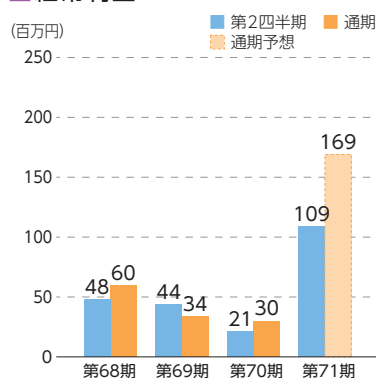
科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	3,189	3,160	△ 29
売上原価	2,335	2,247	△ 88
売上総利益	854	913	58
販売費及び一般管理費	866	841	△ 24
営業利益 (△は損失)	△ 12	71	83
営業外収益	49	51	1
営業外費用	15	12	△ 2
経常利益	21	109	88
特別利益	0	0	△ 0
特別損失	186	2	△ 183
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	△ 164	106	270
法人税・住民税及び事業税	22	19	△ 2
法人税等調整額	4	7	2
四半期純利益 (△は損失)	△ 191	79	271
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	16	10
親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△ 197	62	260

注 国内連結子会社は2019年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は2019年1月から6月(12月決算)の業績が連結されております。

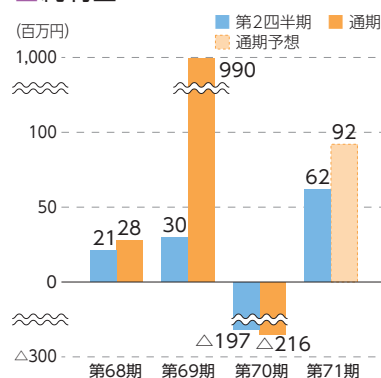
売上高



経常利益



純利益



ホームページやSNSで最新情報をお届けしています。

●IR情報、製品情報やWebショップ

ホームページURL

<https://www.fjx.co.jp>

●キャンペーン、新製品情報、手作り情報を発信



@fujix_info



@fujix_info



● 会社の概要 (2019年9月30日現在)

事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創 業 1921年3月

設 立 1950年1月

資 本 金 923,325,000円

従業員数 130名*パート25名を含む(連結 442名)

事業所

本 社	管理部 営業部	京都市下京区*
東 京 支 店	営業部	東京都豊島区
滋 賀 事 業 所	生産部 物流部 研究開発室	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

*本社(京都市北区)は、現在社屋の建て替えのため仮社屋にて営業しています。(株)FTC本社も同様です。)

● 役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役 藤井 一郎 取締役社長

専務取締役 山本 和良

取 締 役 木村 宜夫 生産部長

取 締 役 川嶋 伸久 アパレル資材部長

取 締 役 松尾 勇治 管理部長

取 締 役 藤井 翔太 経営企画室長

取 締 役
(監査等委員) 松山 広幸

社外取締役
(監査等委員) 山田 善紀 公認会計士

社外取締役
(監査等委員) 吉田 薫 弁護士

● グループ会社

国内グループ会社

株式会社FTC	生産会社	京都市下京区
株式会社シオン	販売会社	秋田県横手市
株式会社ニットマテリアル	販売会社	山梨県甲府市

海外グループ会社

上海富士克制線有限公司	生産会社	中国・上海市
上海富士克貿易有限公司	販売会社	中国・上海市
上海新富士克制線有限公司	販売会社	中国・上海市
富士克國際(香港)有限公司	販売会社	中国・香港
上海福拓線貿易有限公司	販売会社	中国・上海市
常州英富紡織有限公司	生産会社	中国・溧陽市
FUJIX VIETNAM CO.,Ltd.	販売会社	ベトナム・ホーチミン
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.	販売・生産会社	タイ・バンコク

● 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 3,989,000株

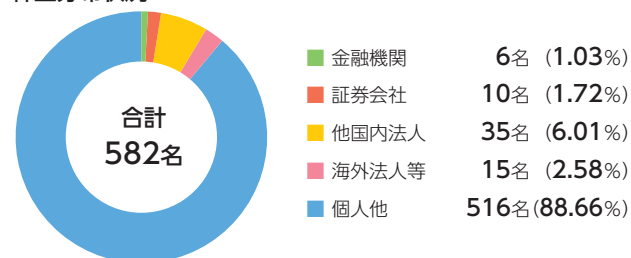
発行済株式の総数 1,468,093株

株主数 582名

大株主	保有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社FJ興産	158,600	11.52
藤井多鶴子	115,400	8.38
小原京子	86,000	6.25
鈴木直子	68,400	4.97
INTERACTIVE BROKERS LLC	53,800	3.91
藤井一郎	44,000	3.20
藤井太郎	42,800	3.11
株式会社三井住友銀行	36,960	2.68
株式会社京都銀行	33,200	2.41
クロバー株式会社	32,800	2.38

当社は、自己株式91,385株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株主分布状況



● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日
中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
<https://www.smtb.jp/personal/agency>

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

公告方法 電子公告としております。(https://www.fjx.co.jp)

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。